

KU:P

京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL



薬剤部紹介



薬剤部の組織

医薬品管理・供給

調剤 / 注射 / 薬品管理

麻薬

製剤

化学療法

RI

安全管理・
薬物療法支援

医薬品安全管理

医薬品情報・医療連携

薬物療法支援

病棟業務

病棟業務支援

薬務

薬務

調剤室

調剤・監査は薬剤師の最も重要な仕事の一つです。当院では、薬剤師はチェックシートやカルテを確認しながら処方監査を重点的に行います。薬剤助手やピッキングマシンが医薬品の取り揃えを行い、別の薬剤師が最終監査をするという流れで、調剤を行っています。

調剤の流れ



薬剤助手による取り揃え



薬剤師による処方監査



薬剤師による最終監査



外来棟地下1階 お薬渡し口



最新機器による調剤

がん薬物療法・注射薬調製室

個々の患者さんに応じた投与量、投与スケジュール、併用薬、臓器機能のチェックを行うことで、がん薬物療法の安全性を担保しています。

調製は、調製監査システムを導入して、バーコードによる薬品照合や、重量監査による採取量の確認・記録を行い、安全で正確な業務を行っています。

薬剤師外来を開設して、患者さんに対し治療に関する薬剤説明や、副作用モニタリングを行っています。得られた情報は医師にフィードバックし、処方提案を通して最適な薬物療法を提供しています。



調製監査システムを活用した抗がん薬調製



がん薬物療法に関する説明、副作用確認



薬剤師による最終監査

病棟薬剤業務

当院では、全ての病棟に少なくとも1人の薬剤師を配置しています。入院患者さんの持参薬をチェックしてオーダー仮登録までを行い、処方提案します。また、入院中に開始する医薬品の説明。退院時の服薬指導を行います。カンファレンスや回診への参加、医薬品の情報提供、看護師と協力して行う病棟常備薬や麻薬の管理も病棟薬剤師の重要な仕事です。



病棟薬剤師による服薬指導

チーム医療への参画

院内には様々な職種から成る医療チームがあります。多くのチームに薬剤師も参加して活躍しています。認定・専門薬剤師を目指している薬剤師も多くいます。

- ・ 緩和ケアチーム
- ・ 抗菌薬適正使用支援チーム（AST）
- ・ 栄養サポートチーム（NST）
- ・ 医療安全チーム

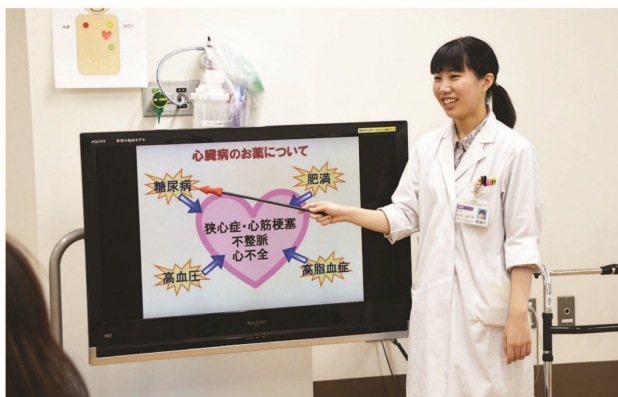
- ・ その他チーム
褥瘡・HIV・RI・糖尿病・腎臓病
心臓リハビリ・がんホルモン
精神科リエゾンなど



緩和ケアチーム



回診への参加



心臓病教室



糖尿病教室

その他の部署

医薬品情報・医療連携室

医薬品情報業務としては、必要な医薬品情報を収集・管理し、整理・加工して院内の医療スタッフに提供したり、医薬品に関する問い合わせに対応しています。また、医薬品の採用・削除を決定する医薬品選定委員会の準備・資料の作成、オーダリングに関わる医薬品マスタの整備も担っています。

医療連携業務に関しては、保険薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）の受付窓口となっています。



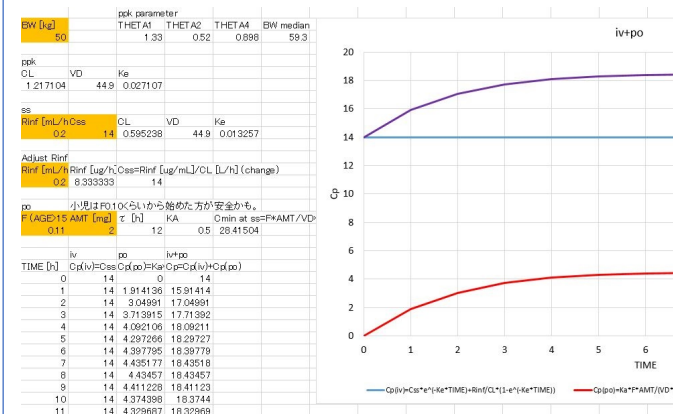
製剤室

市販されていない医薬品を院内製剤として調製しています。大学病院として、特殊な患者の治療に貢献しています。臨床試験のための試験薬製造も行います。



薬効・薬物動態解析支援室 (TDM室)

医薬品の体内動態には個人差が存在します。そのため、薬物によっては、画一的な処方ではなく、患者さん個々の薬物動態的特徴に合わせた調節が必要になります。当院薬剤部では、TDMの対象となる一部の薬物については薬物血中濃度に基づくシミュレーション行っており、医師や病棟担当の薬剤師と連携して投与設計と処方提案を行うことで、薬物治療の個別化に貢献しています。



若手職員紹介

●薬 京子さん

●レジデント2年目・調剤室／病棟担当

●主な仕事内容

午前中は病棟にて、入院された患者さんとの初回面談を通して持参薬や服薬状況の確認、入院患者さんに対する継続的な薬剤管理指導、退院される患者さんに対して退院指導を行っています。

また、他の医療スタッフと患者さんの情報を共有し、適切な薬物治療が行われているかも確認しています。

午後は調剤室にて入院・外来処方調剤や外来患者さんへの服薬指導、各病棟の医薬品の管理、他の医療スタッフへの医薬品に関する情報提供なども行っています。



薬 京子さんのある1日

- 8:30 ● メール確認、カンファレンス
- 9:00 ● 病棟業務（初回面談・服薬指導）
- 12:30 ● 調剤業務・抗がん剤調製
- 15:30 ● オペ室にて医薬品管理
- 17:15 ● 退勤
- 19:30 ● 家事、明日の仕事の準備
- 22:00 ● 休憩、就寝

仕事をするうえで大切にしていること

自分が調剤する医薬品の先には患者さんがいることを意識し、適切な薬物治療が行われているかを評価するとともに、患者さんの手元へ早く届けられるよう迅速に業務を行うことを大切にしています。1人の医療人として情熱と責任感を持ち、他職種と連携しながら安全で質の高い医療を届けることを意識しています。また、医療を牽引する施設の一員として、症例研究やカルテ調査を中心とした臨床研究やアカデミアと連携した基礎研究、医薬品適正使用のための情報の収集・提供等、今と未来の医療に貢献するために日々精進するよう心がけています。

メッセージ

2年間のレジデント教育プログラムによって薬剤師の基本的なスキルを習得するのに適した環境であるとともに、最先端の医療にも関わることが本院の魅力であると思います。また、患者さんにより良い医療を提供するために、向上心を持って日々業務、勉強、研究に励む先輩薬剤師に刺激を受けることができ、希望次第で、調剤業務・病棟業務、医薬品情報、治験管理、研究活動まで幅広い分野を経験することができます。分からないことや困ったことがあれば、誰にでも相談できる温かい職場です。皆さんと共に働くことを楽しみにしています。